

第28回 京都市中学校総合文化祭

技術・家庭科生徒作品展（京都市総合教育センター）

11月3日（土）,4日（日）に京都市総合教育センターにて作品展が行われ、本校からは8名(作品は7点)が入賞し、1名が1月に行われる全国大会への出展が決まりました。



山本 崇人 君の作品

山本君の作品は、「電気領域と木材加工の領域の融合作品というユニークさもあり、なんと言っても完成度が高い」という評判でした。シンプルな設計であり、頑丈なつくり、音の質にこだわった作り方をされています。1月25日（金）-27日（日）に行われる全国大会へ出展されることが決まりました。「全国中学生創造ものづくりフェア」とは「全国の中学生が、工夫・創造して製作した作品を展示し、生徒相互のものづくりへの意欲を高揚する」という目的のもとに開催される大会です。東京の新木場にある新木場タワー（JKホールディングスビル）一階ホールで展示されますが、25日（金）は審査のため一般人は入れません。ぜひ土日に釜田君の作品を見にいきたいと思います。ちなみに、JKホールディングスビルは「合板博物館」が3/4階にありそちらの方も非常に興味深い展示でいっぱいです。ついでにその博物館にも寄り道してみようと思います。



福田 幸正 君の作品

2年連続の入賞となった福田君の作品は、ダボを使ったオリジナルの設計である。折りたたみ式という「畳んだ時」のシンプルさと“使う時”の丈夫さを考慮しながらの設計は大人でも難しい。さらに仕上がりの美しさやデザイン性をどう加味するかなど考えればきりが無い。福田君の作品はなんと言っても塗装が美しく細部まで丁寧に作られていることが評価されていた。



北村 和真 君の作品

できるだけコストを押さえつつ、細部にまで妥協を許さない渾身の作品。ロープの貼り方や帆の工作のアイデアは大人顔負けである。「よくここまで作られましたね」とは参加者の声。



上中 理瑚 さんの作品

シンプルな棚でありながら、美しい塗装と彫りが評価された。材料の加工、組立て、塗装とそれぞれの工程を丁寧に仕上げられているし、全体的に美しく優しい雰囲気が伝わる作品であった。



村岡 青 君の作品

まず素材（材料や部品）の選定に優れている。そして設計のアイデアが素晴らしく、よく考えられた作品である。棚の上に置いたものが滑り落ちないようにしたレール、CDを取り出しやすくしつつ余分なスペースをつくらぬぎりぎりの設計、スムーズなベアリングの回転、これらすべてを併せ持ったすばらしい作品である。

第28回 京都市中学校総合文化祭

技術・家庭科生徒作品展（京都市総合教育センター）



小川 楽々さんの作品

巣箱の設計は簡単なようで考えだすと難しいものである。鋭角に突き出したアピール力のある屋根、色合い、頑丈な組立て、それぞれに作者の思いを感じることができる素晴らしい作品であった。



石山 裕大 / 森 厚憲 君の作品

共同制作であるこの本立ては、完成度が高い作品である。独自のアイデアを足し算で作り上げるのではなく、何をどうシンプルに実現して行くかという引き算から計算された作品であることは見ただけで想像がつく。縦に走る三本のストライプが、カッコいい。

会場の風景

